

# 池辺寺リポート

**ちへんじ** **いけのうえ**  
池辺寺は熊本市池上町にあったお寺で、伝説や宝物がたくさん残る、魅力いっぱいのお寺です。奈良時代の創建と伝えられ、古文書や石碑などから、繁栄・荒廃・再興を繰り返しながら明治時代初めまで存続していたことがわかっています。

発掘調査によって平安時代初めの池辺寺跡が見つかり、百塚地区が国史跡に指定されました。

## ○平成22年の成果【発掘調査】

昭和61年から毎年少しづつ各地区で発掘調査を続け、池辺寺がとても大きな寺だったことがわかっています。現在、百塚地区の約1.8haが国史跡に指定されています。

◇堂床地区 堂床地区は、平安時代(9世紀)に塔が建っていた場所です。ミカン畑で農作業中にたくさん土器が見つかったため、発掘調査をおこないました。

◇百塚地区 百塚地区は、平安時代(9世紀)に本堂があった所で、当時の池辺寺の中心でした。20年ほど前に調査した建物跡の再調査や百塔などの図面作成をおこないました。

◇金子塔地区 金子塔のまわりも、平安時代(9世紀)の池辺寺の一部です。  
大きな石積みが見つかりました。



堂床地区 近景



堂床地区 発掘作業



百塚地区 建物基壇検出



百塚地区 瓦出土状況



金子塔地区 石積み検出作業



金子塔地区 図面作成作業

## ○平成22年の成果【講演・展示】

### 展示

21年6月30日~23年3月(予定)  
交通センター地下にて池辺寺跡出土瓦を展示。

21年8月14日~(現在)  
金峰山少年自然の家にて池辺寺跡出土土器・瓦を展示。

21年12月11日~22年1月24日  
熊本市立熊本博物館「2009年遺跡発掘速報展」。

22年1月6日~3月28日  
熊本県立美術館本館「日本の祈りと縁起物」にて絵巻・独鉛・鎧を展示。  
(県立美術館主催)

22年2月14日  
味生祭(池上小学校ふれあい祭)にてパネル展示。

22年4月12日~(現在)  
埋蔵文化財資料室にて「史跡池辺寺跡出土品」展示。

22年12月10日~23年1月23日  
熊本市立熊本博物館「2010年遺跡発掘速報展」。



池上小学校「味生祭」



池上小学校「いけあかり」

### 講演・講話

熊本市立  
池上小学校 22年1月14日 児童集会にて講話「いけあかりに向けて」。

2月14日 味生祭(地域ふれあい祭)「いけあかり」会場にて講話。  
8月25日 職員研修「独鉛山の文化財」見学・解説。

公民館講座  
2月6日 第1回池上公民館講座「味生池の伝説」。  
3月6日 第2回池上公民館講座「古代の肥後國飽田郡」。  
4月3日 第3回池上公民館講座「池辺寺の調査・研究史」  
5月8日 第4回池上公民館講座「池辺寺跡の発掘調査歴」  
6月5日 第5回池上公民館講座「各地区的調査成果一」  
7月3日 第6回池上公民館講座「各地区的調査成果二」  
8月7日 第7回池上公民館講座「豊富な出土遺物」  
9月4日 第8回池上公民館講座「百塚以降の池辺寺」  
10月2日 第9回池上公民館講座「池辺寺の変遷」  
11月6日 第10回池上公民館講座「これからの池辺寺跡」

その他  
2月26日 熊本ロータリークラブ講話「伝説の山岳寺院池辺寺跡」。  
2月28日 熊本博物館にて講演会「池上町周辺の歴史と文化財」。  
5月19日 熊本県文化財保護協会総会記念講演「池辺寺の繁栄とその変遷」  
7月31日 肥後考古学会発表「池辺寺跡・二本木遺跡群・大江遺跡群」  
9月10日 觀音祭り講話「味生池伝説 龍と蛇の謎」  
10月1日 熊本ロータリークラブ講話「古代西海道と池辺寺」  
10月21日 熊本西南ロータリークラブ講話「伝説の古代山岳寺院 池辺寺」  
10月22日 市立図書館郷土史講座「味生池の伝説と池辺寺跡」  
10月23日 西部地区PTA交流会講話「史跡池辺寺跡～地域と学校で歴史を受け継ぐ」

熊本市立池上小学校3年生児童(平成22年度)の版画作品です。  
「味生池と龍」伝説を題材にして



熊本市埋蔵文化財資料室

## ○熊本市埋蔵文化財資料室が開館！

平成22年4月、に「熊本市埋蔵文化財資料室」がオープンしました。発掘現場で出土した土器や石器を使って、体験しながら歴史の学習をする施設です。月ごとの講座や夏休みの体験学習の案内は「市政だより」やホームページをご覧ください。

展示室に「史跡池辺寺跡の出土品」コーナーがあります。

熊本市蓮台寺5-6-1 ☎096-322-4390 □



池辺寺跡出土品展示コーナー



軒丸瓦



軒丸瓦



軒丸瓦



軒平瓦



軒平瓦



軒平瓦

## ○出土品の紹介① 瓦(かわら)

百塚地区・堂床地区からはたくさんの瓦が出土し、「百塚地区の本堂と堂床地区の塔が瓦ぶきだった」ことがわかっています。平安時代(9世紀)の瓦には、丸瓦・平瓦や、文様のある軒先瓦(軒丸・軒平)・鬼瓦があります。

軒丸瓦には「蓮(はす)の花」、軒平瓦には「つる草や花のつぼみ」が描かれ、華やかな「仏様たちの世界=極楽浄土」を表現しています。

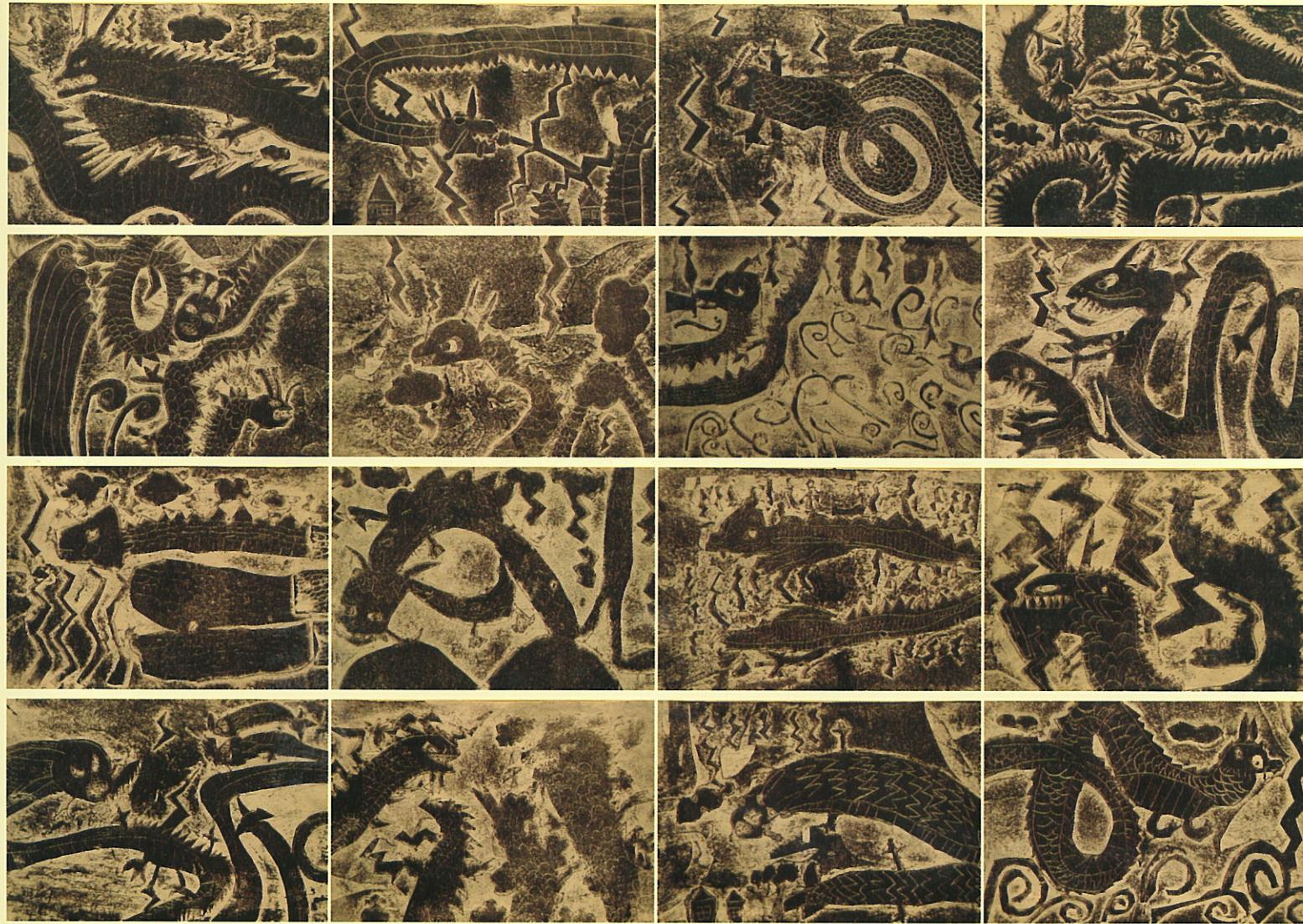
鬼瓦には、魔除けのために「鬼の顔」が描かれています。



鬼瓦



縁起絵巻 第1話の一部分

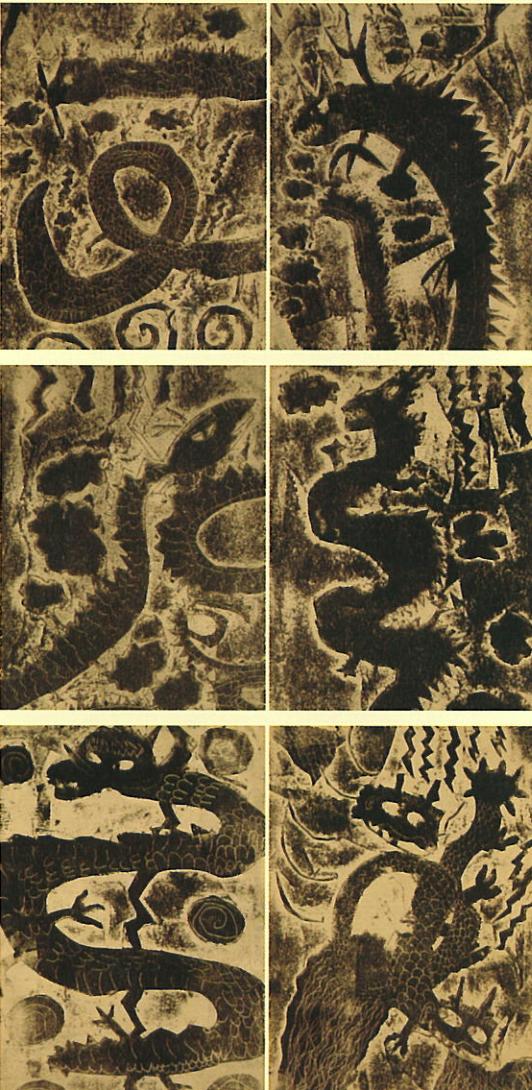


### ○宝物の紹介① 池辺寺縁起絵巻（えんぎえまき）

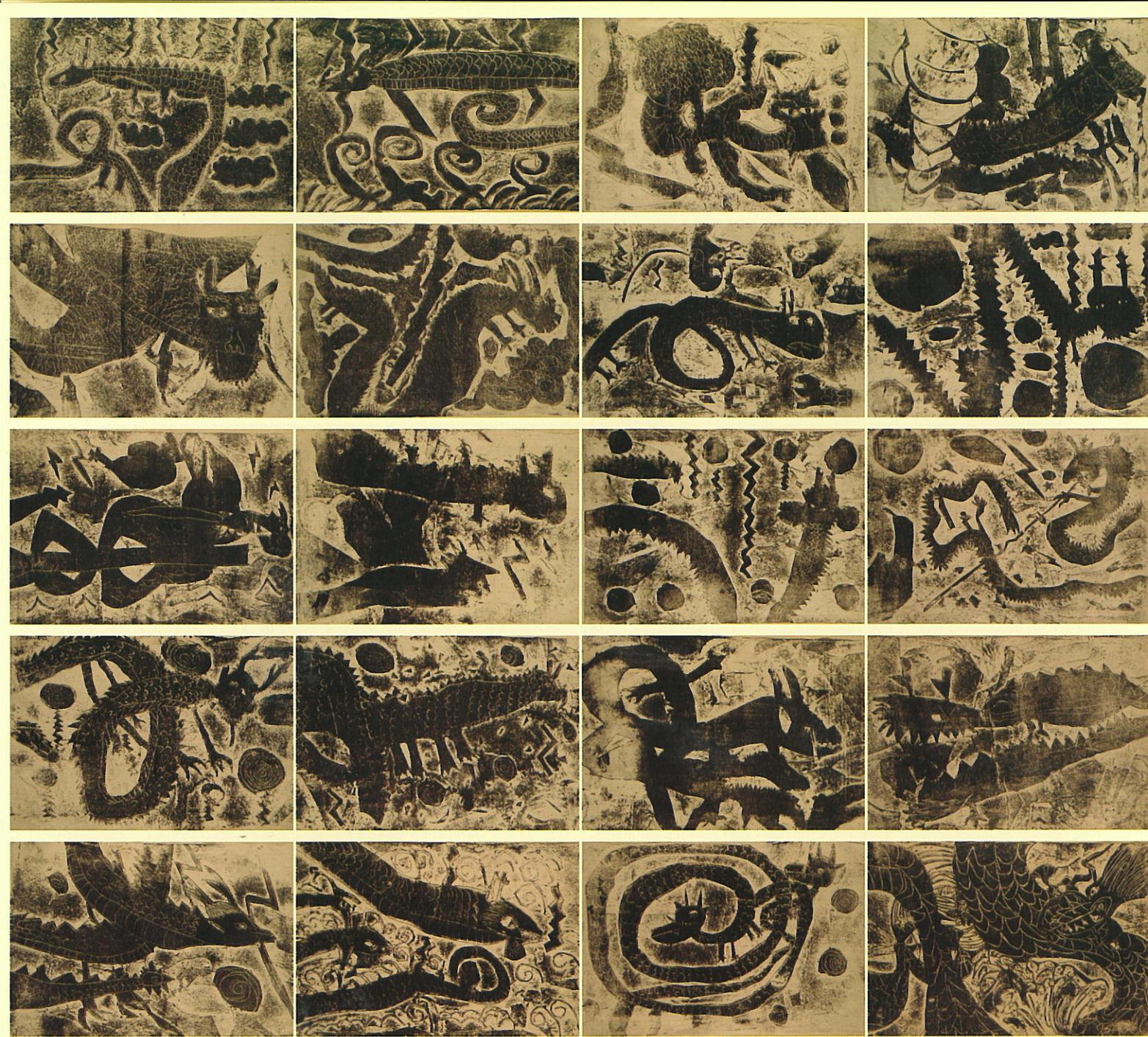
池辺寺に残された仏像・宝物は、地元の「池辺寺跡財宝管理委員会」によって大切に保管されてきました。

現存する「縁起絵巻」は文化元年(1804)のもので、市指定有形文化財です。「味生池に住む悪龍を退治するために寺を建てた話」「独鉢や鈴が空から落ちてきた話」など、池辺寺にまつわる7つの伝説が描かれています。熊本の昔話にもよく登場する話です。

縁起絵巻は熊本県立美術館に収蔵されていますが、毎年9月10日の観音祭りでは地元で公開されています。



縁起絵巻 第6話の一部分



熊本市では、史跡  
池辺寺跡の整備事業  
を進めています。  
まず「短期整備」として百塚地区C地点の指定地から整備をはじめ、平成22年度は「基本設計」をつくりっています。

平成27年度竣工を目指しています。



百塚地区の現状



### お問い合わせ

熊本市教育委員会文化財課

TEL.096-328-2740

E-mail:bunkazai@city.kumamoto.lg.jp